

ネパールに小児病院を

岡山のスーパードーナツ AMDAへ慈善バザー

アジア医師連絡協議会
(AMDA) 本部岡山市櫛

津)がネパール南西部のブトワル市に建設を計画している「子ども病院」を資金面で支援しようと、ジャスコ岡山店(岡山市青江)は三日、店内でチャリティーバザーを行った。

二階の売り場一角に設けられたコーナーでは、中国のジャスコ系列店の従業員らが持ち寄った日用品、衣料、書籍など約二千五百点を陳列。午前十時の販売開始とともに大勢の買い物客が詰め掛け、買い求めて

いた。同店では四、五の両日も午前十時から一時間、バザーを実施。収益金は



すべてAMDAに寄付する。

バザーに先立ち、ケタル・バクタ・マテマ駐日ネパール大使が同店を訪れ、従業員やAMDA関係者らの前に「わが国に病院を造るため、たくさんの方が支援

してくれて感謝している」とあいさつ。近藤祐次・AMDA事務局長からはネパールと交流がある県内のNGO(非政府組織)や学校など十団体で、情報ネットワーク「岡山・ネパール連絡会」を二日に結成したことが報告された。

AMDAによると、ネパールでは五歳以下の死亡率が日本の約二十倍。子ども病院はネパールで二施設目となる小児科専門病院で、十月着工予定。

ネパールへの小児科専門病院の建設支援のため行われたチャリティーバザー